

センター報告

▼ 同胞生活センター1月相談内容

- 補助金の申請帮助 1件
- 介護関係の相談 1件
- 冠婚葬祭の帮助 1件
- 同胞飲食店のお食事券作成、印刷 1件
- 廃品回収 7件

2026年も幅広いジャンルの生活問題の解決に努めていきます。

「溜まった段ボールを持ってほしい」「灯油を代わりに買ってきてほしい」など、どんな些細な事でも、困りごとがあれば、同胞生活相談センター(024-922-3554)にぜひご相談ください。

朝青カレンダー

「ウリ」をテーマにチョチョンならではの写真をまとめたチョチョン福島オリジナルカレンダーですが、たくさんの同胞たちにお買い上げいただき、無事に完売いたしました。

本当にコマッスンミダ！

商工新聞に掲載

1月20日発行の朝鮮商工新聞に同胞新春モイムの記事が掲載されました。(以下掲載文)

新年、温かな出発を刻む

福島県同胞新春の集いが1月10日、ベルヴィ郡山館で開かれ、県下の同胞らが一堂に会した。

総聯福島県本部 張泰昊委員長が新年のあいさつを述べ、同胞社会を取り巻く厳しい情勢が続くなか、福島県同胞社会のために尽力されてきたことに謝意を述べ、総聯第26回大会を迎える今年、一丸となって地域同胞社会の活発化に取り組もうと述べた。

主催者を代表し福島県商工会 高唯嗣副会長が互いの健康と健勝を祝した。

続いて商工連合会 金昌宣副理事長兼朝鮮商工新聞編集長が「激動する国際情勢と朝鮮半島、そして在日同胞社会」と題して講演を行い、国力の根本的変化と米国中心時代の終焉を読み解き、私たちも巨大な転換期に伝統を継承し転換と変革を図ろうと言葉を結んだ。

第2部に20歳の集いが開かれ、花束と記念品が贈られた。

徐那綾さんが決意表明を行い、祖父母への感謝と福島県同胞社会への恩返しを力強く述べた。

乾杯の発声と共に歓談と会食、抽選会も大いに盛り上がり新年の新たな一歩を踏み出した。

5	6	7	8	9	10	11
木	金	土	日	月	火	水
		中通リユアドン教室		浜通りアドン教室		会津オンラインウリマル教室、アドン教室